

「海外で戦争する国」への歴史的暴挙

集団的自衛権の行使容認

「閣議決定」撤回を

安倍政権は1日、国民多数の反対を無視し、集団的自衛権の行使容認を「閣議決定」で強行。日本共産党は、志位和夫委員長が記者会見し、声明を発表しました。

全文は党ホームページをご覧ください。

日本共産党

「戦闘地域に行かせない」の歯止めはずし、
自衛隊の「戦地派兵」を可能にしたら、
かならず攻撃の対象に

「閣議決定」は、これまで「戦闘地域」とされてきた場所でも支援活動ができるとして
いますが、アフガン戦争で「集団的自衛権」を行使して参戦したNATO諸国はおびただ
しい犠牲者をだしています。

「武力行使の新3要件」――

日本に対する武力攻撃がなくても、

「明白な危険」があれば、

他国のために武力行使ができることに

政府は「限定的」といいますが、時の政権の「存で、海外での武力行使がどこまでも広
る危険があります。」「必要最小限」といっても、いったん武力行使にふみきれば、反撃を招
き、際限のない戦争の泥沼に陥ることになってしまいます。

自衛隊は60年間、他国の人を一人も殺さず、
一人の戦死者もださなかった。

戦後日本のあり方を否定し、

「殺し殺される国」にしているのか

米国の戦争のために、日本の若者の血を流すこと、他国の人に銃口をむけることに――
日本の失うものはかりしません。

国民の声に耳をかさず、国会審議もなく、
与党だけの密室協議で解釈改憲。

憲法破壊のクーデターであり許されない

一片の「閣議決定」で、従来の政府見解を180度転換するなど、立憲主義否定の暴挙
です。

戦争か平和か――

良識ある国民の声をひとつに集め、
「戦争する国」づくりストップを！

しん
ぶん 赤旗

2014年
7月号外

発行●日本共産党中央委員会
〒151-8586東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL 03-3403-6111(大代表)